

科目	機械実習 (Laboratory Work in Mechanical Engineering)		
担当教員	石崎 繁利 教授, 尾崎 純一 教授		
対象学年等	機械工学科・3年C組・前期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	A4-M4(30%) B1(30%) C4(20%) D1(20%)		
授業の概要と方針	2年生までの機械実習の経験を生かして工作機械や工具を使い, 与えられたテーマに従って班ごとに作品を製作する。作品の設計・製図・製作を行なうことにより創造性, 計画性および協調性を養うことを目的としている。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-M4】与えられた課題に対してアイデアを盛り込み, 作品を製作することができる。		与えられた課題に対してアイデアを盛り込み, 作品の製作ができたかを作品および提出されたレポートで評価する。
2	【B1】作品の製作に関する内容を論理的に口頭およびレポートで説明することができる。		作品の製作に関する内容を論理的に説明できるかをプレゼンテーションおよび提出されたレポートで評価する。
3	【C4】計画的に製作を行なうことができる。さらに工作機械を使い, 必要な部品の加工をすることができる。		計画的に製作を行うことができたかを作品およびレポート, 授業の取組みで評価する。
4	【D1】機械工場において安全に作業を行うことができる。		機械工場において安全に作業を行うことができたかを作品およびレポート, 授業の取組みで評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, レポート70% プレゼンテーション10% 製作した作品20% として評価する。成績は, レポート70%, 製作した作品20%, プレゼンテーション10%として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「からくりの素」: 坂啓典 (集文社)		
参考書	「機械製図」: 林洋次 (実教出版) 「機械要素設計」: 吉沢武男 (裳華房) 「機械工学必携」: 馬場秋次郎 (三省堂)		
関連科目	設計製図, 機械実習, 機械設計		
履修上の注意事項	1年, 2年の機械実習で使ったノート, プリント, レポートなどを準備しておくこと。		

